

授業科目名	文化政策実習	担当教員	古賀 弥生 李 知映 小林 瑠音 近藤 のぞみ 井原 麗奈
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	実習		
開講年次	3年第2クォーター		
講義内容	豊岡市を中心とする但馬地域の自治体における文化政策の現状を分析し、新たな文化振興策の提案を行う。提案にあたっては、当該自治体の文化事業への参画、住民を対象とした調査、他都市の文化政策の事例調査等を行った上で、具体的な予算要求資料案を作成する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興策の企画立案の基礎となる現状調査、住民調査、先進事例調査等を実施し報告書にまとめることができる。 ・自治体文化政策の方針に沿った事業の企画案、予算案を作成できるようになる。 		
授業計画	<p>*実習先によって異なるため、代表的な例として記載します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション及び現状調査 当該自治体の方針、現行事業等について、担当者から情報を収集し文化振興策の現状と課題をまとめる。 2. 住民調査① 当該自治体の住民を対象とした、文化振興策に対する意識調査等の準備を行う。 3. 住民調査② 住民を対象としたアンケート調査、インタビュー調査等を実施する。 4. 住民調査③及び他都市事例調査 住民調査の結果を分析し、想定される提案の先例となる事業等を行う都市について情報収集を行う。 5. 提案① 現状調査、住民調査等を基礎として、新たな文化振興策の提案を企画書にまとめる。 6. プレゼンテーション準備 提案①について当該自治体担当者にプレゼンテーションを行う準備をする。 7. プレゼンテーション 提案①のプレゼンテーションを行い、担当者の講評をいただく。 8. 提案② 担当者の講評をもとに提案を実現可能性の高いものに修正し、予算書を作成する。 9. 予算要求資料の作成 作成した提案②の企画書・予算書から当該自治体の次年度予算要求資料案を作成する。 10. 総括 授業全体を振り返り、残された課題の整理を行う。 		

事前・事後 学習	<p>*実習先によって異なる場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業テーマに関連したキーワード、活動の現場で見聞きした言葉について文献等で学習すること。 ・毎回の授業で学んだ内容に関する小レポートを作成し、提出すること。
テキスト	なし
参考文献	実習内で適宜紹介する。
成績評価 の基準	<p>小レポート（40%）、企画書・予算書の内容（30%）プレゼンテーション（30%）により評価する。</p> <p>*実習先によって異なる場合がある</p>
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	学外の臨地実務実習先の実習指導者から、実践的な指導を受けながら実習をすることから、実践的教育に該当する。
備考欄	受け入れ人数を超過した場合の選抜方法については、実習説明会で説明する。